

2013年の第34回オール九州コンテストにおいて参加局数が、182局(管内51局)となりました。日程がCQ World Wide DX Contest CW(以下WW CW)と重複したことも影響があったとは言え、地方本部単位のコンテストとしては参加局数が少なく、このままではさらに参加局が減少するのでは、と危機感さえありました。このため、コンテスト参加局増を目指し、規約改正を含めた検討会をML上で行うことを決定しました。

九州地方本部内の全県支部に参加を依頼しましたが、検討会に参加していただいたのは福岡、佐賀、大分、宮崎、鹿児島県支部のコンテスト委員を中心とした代表者となりました。

また、昨年のオール九州コンテストの前後に、インターネットHPおよびコンテストサマリシートの意見欄によるオール九州コンテストに関する意見募集も行いました。

これら意見と検討会ML参加者の意見等から、以下1~4の内容を1月から4月にかけて検討を行いましたので報告します。

1.開催期日

提案:WWCWとの重複や22日が平日となることで参加者減の原因と考え他の日に移行

結果:変更なし(11月22日~23日(勤劳感謝の日))

- ・現時点で、週末は何らかのコンテストが行われており、移行する場合の適切な開催日がない。
- ・仮に移行する場合は、まず、現在開催されているコンテスト主催者との調整が必要となる。
- ・可能となった場合でも周知期間も必要で開催の1年前には決定しておく必要がある。(オール九州コンテスト履歴 JH6FTJ 上堂さん作成も参考に検討)

2.開催時間帯に関する事

提案:0時過ぎから6時頃にかけては参加局は少なくなることから、休憩時間設ける事。

開催時間を24時間とすること。

結果:変更なし(22日21時~23日15時)

- ・コンテストは競技であることから、1局でも多くの局とQSOするように運用した局が入賞すべき。
- ・24時間に戻すと移動で参加局にとっては撤収作業が夜となる。
- ・24時間に戻すとWW CWと重複した場合はローバンドでの運用で問題が発生する。

3.参加部門

(1)モード、周波数帯

提案:電話部門と1.2GHzの復活提案、ハンディー機部門、HF、VU部門新設

結果:参加部門としては変更なし

- ・本部主催の電話部門は4級資格者と対象とした部門であるが、第35回の参加者では4級資格の参加は2%程度である。
- ・1.2GHzについては、参加者なく第35回から廃止したことから復活しない。
- ・ハンディー機部門は、ハンディー機の定義が難しい。
- ・HF、VU部門についてはシングルバンド部門との関係もあることから新設はしない。

(2)出力等

提案:QRP 部門、ローパワー部門新設

結果:シングルオペ部門の出力は最大 100W とする。

QRP(5W 以下)については参加者数に応じて1位を入賞とする。(部門新設はなし)

- 第35回の参加者の75%は10Wを超え、100W以下の出力となっている。
- 100W制限とすることで移動局に入賞の可能性も高まり、参加局増も見込める。
- QRPについては、部門、入賞ともない現在でも、5%程度の参加者がある。
(100Wを超えるシングルオペ局の参加は、マルチオペ部門とする。)

(3)その他部門

提案:ニューカマー部門新設

結果:部門新設は行わず、QRP 同様に入賞とする

- 参加局が不明だが新たな局の参加者を増やすには、4アマ対応の電話部門新設より、ニューカマーを入賞とした方が有効
- 部門に関係なく管内、管外の最高得点を入賞とする。

4.その他

(1)運用地の変更

提案:コンテスト開催中の運用地の一定範囲内の変更可

結果:JARL 本部のコンテスト規約改正をそのまま使用する。

(2).副賞、参加証明書の発行や功労賞

提案:副賞、参加証明書、功労賞

結果:見送る。予算により担当支部での設定は可能

- QRPとニューカマーの入賞追加で、賞状の発行枚数が増加する。
- メール便廃止により予算不足も考えられる。

5.意見提案があり第35回で実施

- Raw Scores(暫定順位)発表
- コメント集の作成
- コンテスト参戦記のblogを九州地方本部HPからリンク

参考

第35回オール九州コンテスト参加局の資格と出力

資格	%
1アマ	52
2アマ	28
3アマ	18
4アマ	2

出力	%
5W以下	5
~10W	4
~50W	43
~100W	35
~200W	11
~1000W	2